

わたしたちの物語

野村育子さん(78歳)&聞き書きボランティア 音喜多かおるさん

【実家編】

名前は育つ子の育子。疎開先の中国の支那で生まれました。

兄弟は四人。自分は長女で、十九年生まれ。

あとその下は……やーね、皆忘れちゃったわ。アハハ。

弟が二人、あれ、私と……何しろ四人だったんですよ。

父の仕事は報道つて言うか、編集とか小説書いたりしてて、変わつてて。

兄弟同士では遊べなかつたですね。遊べなかつたのは……何でだろう？

環境つて言うか。弟はあまり一緒にいなかったですね。

弟たちの年齢は離れてないの。でも遊んだ記憶ないんです。

結婚式の写真。兄弟、お父さん、主人、私。

おじいちゃん、おばあちゃんも写ってます。

結婚したのはオリンピックより前です。北区会館で結婚式あげたの。

生まれたのは支那だけど、北区にはもうずーつと昔から住んでいて。

いつから住んでるのか……。

小学校は王子第二小学校。住んでいたのは王子本町三丁目かな。

中央公園のほう。中央公園の中でよく喫茶店つていうか、お茶飲んでました。ウフフ。

あまりそういう場所が無かつたから。

父が書いた小説を持つてくればよかつたですね。読まないけど、持つてます。

みんな読まないんじゃないですか。その中に戦争のことか書いてあると思います。

父は戦争の話は話さなかつた。

あたし、訊いたことあるんですけど「くだらん」て。

イヤだったんでしょね。話したくなかつたんでしょね。

私の兄弟、弟やなんかも知らないと思います。お父さんからは訊いてないと思います。

【結婚編】

たぶん恋愛結婚、ウフフ。夫が結婚させてください、つて来たんですよ。それもサンダル履き、アハハ。夫はそういう人で、全然ズボラなほうだから。お父さん(父)は無関心だから、夫のサンダル履きを見なかったかも。夫はほんとにそこら辺を歩くような普通の格好で。

娘をもらいにね、そんな格好でくるなんて。

そういう何にもないところがいいと父も思ったのかもしれないけど、結婚したの。

結婚してからも、王子本町三丁目にずっと住んでたの、実家の隣に。

だから夫は運のいい人だと思いますよ。

父はすぐに結婚していいよ、つて言わないと思つてのに、結婚していいつて。

えっ、うそ、なんでつて思つて。

父にはみんな服従。父は支那でいろんな人見てたし、私は父親に一日置いてました。

結婚して二人で暮らしたのはこの近くなんです。近くに住むのが条件で。

そしたら、夫はもちろん！、みたいな感じで。行くところなかったんですよ、夫は。

それで私も、父は難しい方だから、めんどくさいつていうか、諦めたつていうか。

父が、「一緒に住むんだつたら結婚を許してやる」つて。住まいは王子本町三丁目アパート。父はね、私を女中扱い。母が病気で弱かったもんですから。

リウマチで、指が少し不自由で。だから全部私が隣で家事をやつてたんです。

父はこれ幸いって。アハハ。だから、御の字ですよ、父は。

父を口説き落とせば、何でもOKつて感じ。私は父に絶対服従だし。

【サッカー編】

好きだったことはずーつとサッカーです。サッカーやってたんです。女子サッカー、やってる人少なかったんです。だから余計にやっていました。

今も女子サッカーをテレビで見えます。私の娘も子供の頃サッカーをやってたの。澤たちの時代かな。娘も続ければ良かったのに、つて思ってるけど、そんなに興味なかったのかな。

サッカーの話になると、私はすごいですよ。アハハ。

テレビで女子サッカー見てるのは私くらいですね。みんなは見ない。お父さんは野球が忙しいから嫌みみたいで。

私は観戦するより、やってるほうが楽しい。観るよりはやりたくなくなっちゃう。

令和6年8月

